

## 『国際問題』 ウェビナーの御案内

## 「イスラエル・パレスチナ紛争に見る国際法の課題」を論じる

2025年1月の『国際問題』ウェビナーでは、「イスラエル・パレスチナ紛争に見る国際法の課題」をテーマとする『国際問題』誌2024年12月号の著者が、それぞれの考察を踏まえて、執筆時以降の最新の動きや他の執筆者の分析との関連を含めて議論し、特集テーマをさらに深く掘り下げます。同号の概要は以下のとおりです。

イスラエル・パレスチナ紛争では、国際人道法の違反やジェノサイドなど国際法侵犯の例が数多く報告されている。国際司法裁判所 (ICJ) や国際刑事裁判所 (ICC) の利用を含め、当該紛争において国際法や国際裁判所が果たしうる役割や課題について総合的に論じる。

1. 日 時： 2025年1月14日 (火) 13:00—14:15

2. 申込登録： 参加をご希望の方は下記の URL よりお申し込みください。(視聴無料)

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/8717183304211/MN\\_-axnC2xrS46Rse5W8lz3Vg](https://us06web.zoom.us/webinar/register/8717183304211/MN_-axnC2xrS46Rse5W8lz3Vg)

3. 登壇者：



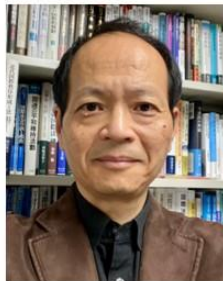
## 『国際問題』 ウェビナー

「イスラエル・パレスチナ紛争に見る国際法の課題」を論じる  
2025年1月14日 (火) 13:00~14:15

古谷修一  
早稲田大学教授  
モデレーター  
巻頭エッセイ  
イスラエル・パレスチナ紛争に  
国際法は何かできるか？



川岸伸  
静岡大学教授  
イスラエルによるガザ侵攻と  
Jus ad Bellum



新井京  
同志社大学教授  
ガザ攻撃が照らす  
国際人道法の課題



玉田大  
京都大学教授  
パレスチナ紛争と国際司法  
裁判所：  
対イスラエル訴訟の意義



越智萌  
立命館大学准教授  
国際刑事裁判所 (ICC) による  
イスラエル、ハマス両指導者に対する  
逮捕状請求に関する法的問題：  
管轄権および補充性制度に関する現行法と理念

©本ウェビナーは『国際問題』2024年10月号執筆者にご登壇いただきます。左よりご登壇順。

4. 言語： 日本語

5. お問い合わせ： [km-webinar@jia.or.jp](mailto:km-webinar@jia.or.jp) 担当助手：西村

※JIA 会員の方 (個人会員・法人会員・図書館会員) は、後日アーカイブの視聴が可能です。ログインしてご利用ください。